

シンプルに見せる防潮板2題

としまエコミューゼタウン（南池袋二丁目A地区市街地再開発事業）

日本設計（設計・監理），隈研吾建築都市設計事務所（外観 一部内観，デザイン監修），ランドスケープ・プラス（ランドスケープデザイン）



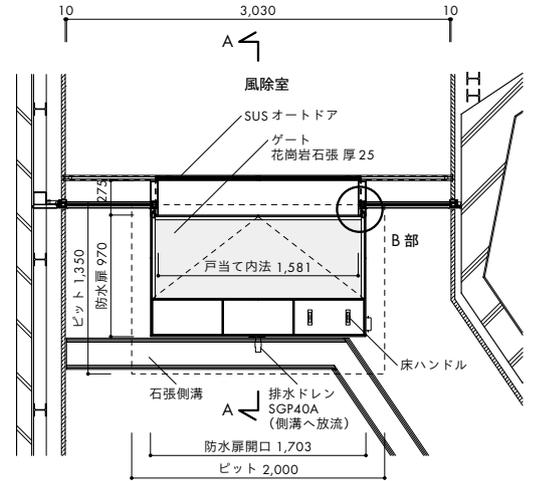
としまエコミューゼタウンでは、庁舎や店舗、住宅のエントランスを含めて、計17カ所の防潮板で建物を冠水被害から守る計画としている。

北東のエントランスでは、見え掛りの優先順位を整理し、かつ性能向上のために責任境界点（工事区分）の明確化を行った。具体的には、サッシュ方立て建込み後は、すべて防潮板工事で完結するように、方立ての加工形状や化粧蓋の材料手配等を各メーカーと協議しながら決定した。動線となるオートドア側か

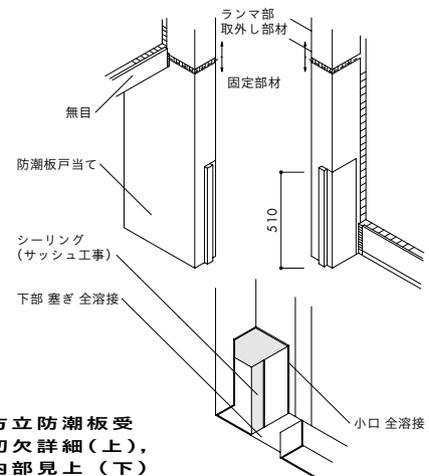
らは、1本の方立ての中に防潮板の止水ゴムと化粧蓋のメタルタッチのラインのみが見える意匠となった。

東のエントランスでは、導入する外側からの見え方を優先し、斜め柱の背後に石仕上げと面で戸当てを設けた。ヴォリュームとして戸当てが見えないよう、柱側面は石勝ちとして戸当てを隠蔽している。これにより、外部側からは立面上現れず、内部側からは斜め柱の陰に必要最小限の姿で見える意匠となった。

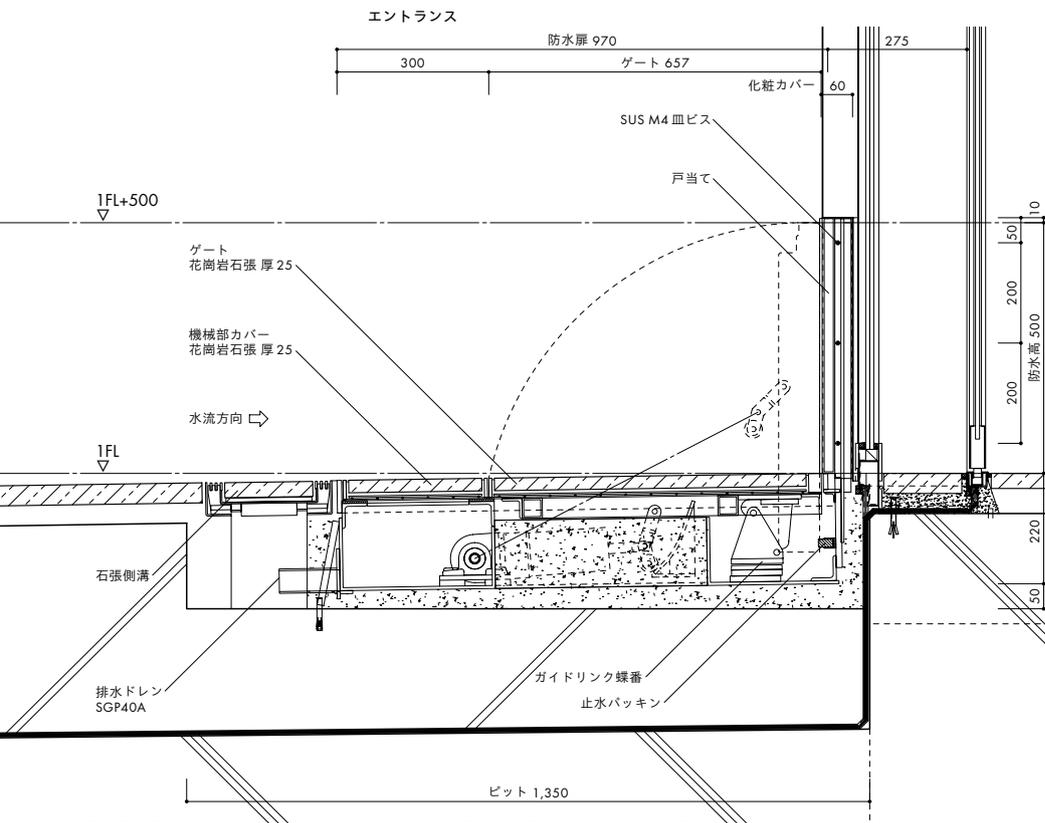
（日本設計 井水通明・浦木拓也）



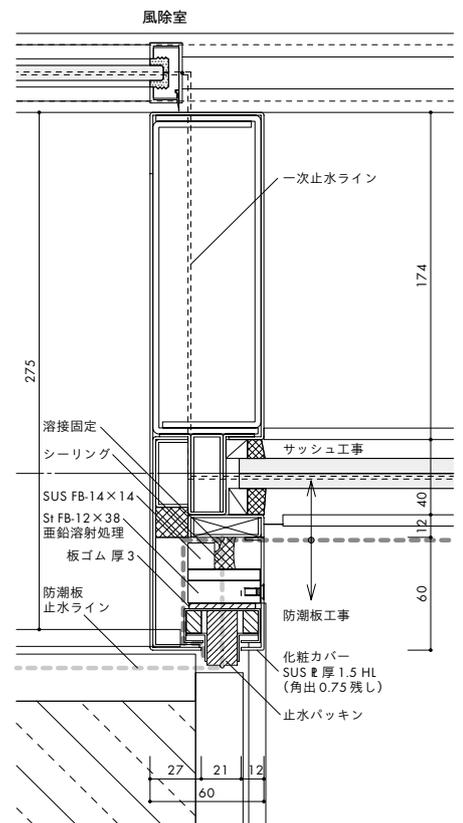
北東側エントランス平面 1 / 60



方立防潮板受切欠詳細(上), 内部見上(下)



防潮板 A-A 断面詳細 1 / 15



防潮板 B 部断面詳細 1 / 4